

観光経済常任委員会視察報告

平成30年5月14～16日

《鹿児島県霧島市》

観光総合戦略について

第2次霧島市総合計画の観光施策を具体的に推進する5年間の戦略として、観光は「農林水産業や商工業などさまざまな業種と密接に係り、地域経済を支える総合的な産業」という考えのもと、「国内外の観光客の誘致」「観光素材の創出と活用」「利便性の高い観光地づくり」の達成に向け、市民を初め観光関係者などの産学官民が一体となり具体的な取り組みを行っていました。観光



霧島市役所にて

を市の基幹産業とし、観光以外の分野も横断的に戦略に関わるなど全市的な推進を図っており、年間観光客数は750万人以上に達していました。

《鹿児島県鹿兒島市》

観光未来戦略について

経済成長のエンジンとなる「稼ぐ観光」の実現に向け、平成33年までに1人当たりの観光消費額の5千円増(平成27年比)を目標とした戦略を策定していました。観光は経済を安定的に支える産業の一つと考え、「稼ぐ力の強化」「インバウンド対応の強化」「広域連携の強化」を目標とし、具体的施策を展開していました。現在は大河ドラマ「西郷どん」の強みを活かした観光振興で、世界に通用する「Kagoshima」の発信に向けた取り組みを行っていました。

観光経済常任委員会「誘客、観光イベントの取り組みについて」市から以下の説明を受けました。

- ・県や県内自治体等と連携し、インバウンド誘客対策や、首都圏・仙台圏からの誘客対策を進めている。
- ・国立公園満喫プロジェクト事業として、QRコードを活用した十和田湖畔地区の案内表示物の多言語化に取り組んでいる。
- ・DMOによる観光地域づくりとして、平成31年4月の業務開始に向けて市内各地で座談会を開催している。

↓
DMOの戦略づくりが大切なので、他の地域の事例等を参考に、よりよいものをつくってほしいと意見集約しました。

常任委員会 所管事務調査報告

観光経済常任委員会

「誘客、観光イベントの取り組みについて」

市から以下の説明を受けました。

- ・県や県内自治体等と連携し、インバウンド誘客対策や、首都圏・仙台圏からの誘客対策を進めている。
- ・国立公園満喫プロジェクト事業として、QRコードを活用した十和田湖畔地区の案内表示物の多言語化に取り組んでいる。
- ・DMOによる観光地域づくりとして、平成31年4月の業務開始に向けて市内各地で座談会を開催している。

全国市議会議長会表彰

去る5月30日に東京都で開催された全国市議会議長会第94回定期総会において、2名の議員が表彰されました。今定例会の開会日に、議長から表彰状が伝達されるとともに、市政発展の功労者として市長から表彰状が授与されました。



議員35年以上 特別表彰
沢目正俊議員



議員20年以上 特別表彰
赤石継美議員